

NEW 新人 / 県議を紹介!

【今後の抱負を川柳で】 ☆当選後3か月を振り返って！ ON & OFF ショットです

【泥臭く 歩いて聞いて 汗をかく】

本郷 高明 (前橋市区・日教組)

☆継続は力なり、毎朝恒例の市内14箇所での街頭活動と個々面接を中心とした地域の出前行政相談を精力的に行っております。陳情等が多くなりましたが、初心を忘れず、出来る限り、自らが出向いて状況を把握する毎日を過ごしております。



↑ハツ場ダム建設に伴う埋蔵文化財発掘調査・視察

↓県民(フル)マラソンに向けて夜中に特訓中



【政策で 勝負をするぞ 県議会】

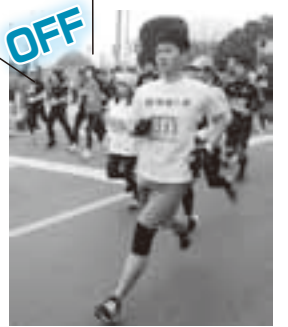
井田 泰彦 (桐生市区・桐生地協)

☆県議として3か月。市議時代と同様に日々、政策の種を探し育てています。定例会を経験し、仕事の範囲が広い分議論が漠然としやすいと感じました。意識して現場に寄り添い、具体的な提案をするように心掛けています。

ダイエットがてら始めたジョグが高じてマラソン大会に参加。県議会へも自転車で通っています。



初登庁→



【これからも 庶民の感覚 忘れずに】

加賀谷 富士子 (伊勢崎市区・伊勢崎地協)

☆仕事と家事と育児の両立が大変ですが、夫に家事、育児を頑張ってもらっています。先日は家に帰ると夕飯のおかずが5品もあり感激。翌日は1品でした(泣)。家族の助けを経て、自らの実体験を皆様とともに県政に反映していきたいらと思っています。



我が家のペット→の「メーさん」です



←水防演習会でペナン大使のゾマホンさんと

7月5日に投開票された群馬県知事選挙において、連合群馬で支持した『大沢正明』氏は見事に当選を果たすことができました。皆様のご支援・ご協力に感謝いたします。



～安心して働きたい・暮らしたい回～
【1000万連合実現に向け】

連合群馬は、昨年、「1000万連合」実現に向け、結成以来過去最高の組織人員12万5千人を掲げた「キックオフ宣言」を確認し、目標達成に向け取り組みを展開しています。

昨年12月に厚生労働省が発表した報告によると、現在の日本の労働組合推定組織率(雇用者数に占める労働組合員数の割合)は17.5%となっており、労働者のほとんどが組合のない職場で働いている状況にあります。

加えて、正規・非正規の格差が拡大し、労働者を取り巻く環境は大変厳しい状況にあります。

特に労働組合のない企業では労働者一人ひとりの力は弱く、法律で守られている労働者の権利すら軽視されることもあり、それゆえ労働現場ではトラブルが絶えず、解決も進まず、多くの働く仲間の暮らしは、かつてないほどの厳しい状況に陥っています。

組織拡大への取り組みから組合結成につなげ、組合活動が出来る環境を整えるとともに、経営側と団体交渉や労使協議を行うことで、法令遵守や、雇用の安定と生活の維持・向上、働きがい・やりがいにつなげる。即ち、「健全な労使関係の構築」が重要であり、労働組合の本来の目的がそこにあります。

また、政治や社会への発言力を高め、「働くことを軸とする安心社会」の実現につなげるために、組織人員を拡大させ、「実行力」「政策力」「社会的発言力」を強めることも大切です。

すべての働く人、働きたいと思っている人たちのために行動することが、今、私たちに求められています。

(高草木)